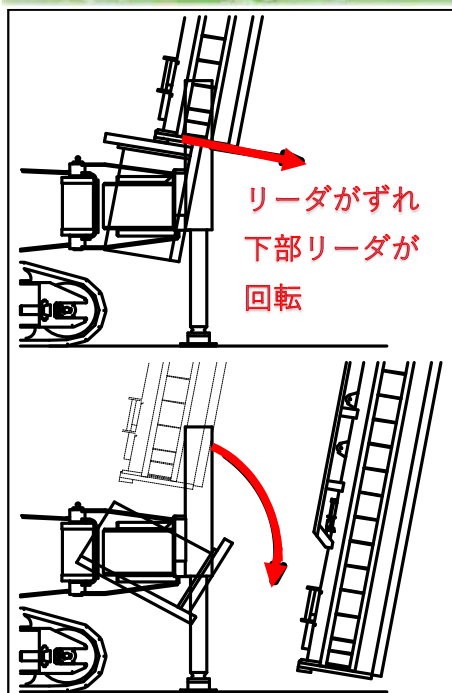


- ①手元作業者を手伝えるためエンジンをかけたまま離席
- ②ステー操作レバーのリンク部が固着して戻り切らず
- ③右側ステーが少しずつ縮小
- ④リーダが右に傾斜、異音がして初めてレバー入に気付いた
- ⑤オペレータが戻りリーダを鉛直に戻した
- ↓
- ⑥リーダ周りを点検したが、異常は発見できなかった
- ↓
- 実際には④の時点でリボルバベアリングが破損しボルトが抜けていたが、リーダ内部に隠れているため目視確認できなかった
- ↓
- ⑦詳細点検のため解体しようとリーダを寝かせる分解作業の途中で破損部からリーダがずれて落下し右側へ倒壊した



- ◆運転席レバー回りは、動きが渋い時には給脂し、直らない場合は部品交換してください。
- ◆リボルバ部の点検は、要領書に従って実施してください。
- ◆やむを得ず離席する時は、全レバーが中立状態であることを確認しエンジンを切ってください。